

# あさひむら **議会だより**

2014.10.31



小学校運動会



## 目次

- 議会の議決事項の概要 ..... 2
- 一般質問 ここが知りたい ..... 6
- 常任委員会報告 ..... 10
- 議員活動報告／議会費決算報告 ..... 11
- 議会活動日誌 ..... 12

「議会だより」第14号 発行日／2014年10月31日

発行／朝日村議会 〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村大字小野沢296-5 TEL 0263-99-2001(代) FAX 0263-99-2745  
印刷／川越印刷株式会社 Eメール gikai@vill.asahi.nagano.jp

# 議会の議決事項の概要

～ご意見・要望は下記まで～  
E-mail gikai@vill.asahi.nagano.jp

## 平成26年第3回臨時議会 (平成26年7月)

### ◆議案第40号

○朝日村観光レクリエーション施設設置条例の一部を改正する条例について

朝日村観光レクリエーション施設設置条例の、管理運営審議会の変更と別表第1と別表第2を統一し、野俣沢林間キャンプ場の使用料金を改めるものです。

(全員賛成 可決)

### ◆議案第41号

○モクモク体験館の指定管理者の指定について

モクモク体験館の指定管理者を、次のとおり指定するものです。

朝日村大字小野沢 269-1

フロンティア朝日生きがいの会

代表者 上條 康成

平成26年 8月 1日から

平成31年 7月31日まで

(賛成多数 可決)

### ◆議案第42号

○平成26年度辺地対策事業村道針尾19号線道路改築工事請負契約の締結について

契約の目的

平成26年度 辺地対策事業

村道針尾19号線道路改良工事

契約方法

指名競争入札

契約金額

1億1,210万4千円

契約の相手方

清沢土建株式会社

塩尻市大門駅西 1059-3

代表取締役 清澤 由幸

(全員賛成 可決)

### ◆議案第43号

○平成26年度朝日村一般会計補正予算(第2号)について

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,279千円を追加するもので、主なものは、モクモク体験館委託料1,200千円、かたくりの里用地測量等委託料900千円、野球ユニホーム640千円等です。

(賛成多数 可決)

## 平成26年第3回定例議会 (平成26年9月)

### ◆議案第44号

○朝日村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども・子育て支援制度が27



年度からスタートするにあたり、子ども・子育て支援法に従い、特定教育・保育施設（認定こども園、幼稚園、保育所等）、特定地域型保育事業（家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業）の利用定員、利用者負担内容、運営規定等を定めたものです。

（全員賛成 可決）

◆議案第45号

○朝日村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第44号と同様で、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めたものです。

（全員賛成 可決）

◆議案第46号

○朝日村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第44号と同様で、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めたものです。

（全員賛成 可決）

◆議案第47号

○朝日村観光レクリエーション施設設置条例の一部を改正する条例について

これは、緑の体験館コテージの利用料金等を定め、追加したものです。

（1棟6人まで）

トップシーズン

34,560円

土休日

30,240円

平日

19,440円

犬、猫の宿泊可能で、1泊1匹

2,160円（2匹まで）

（賛成多数 可決）

◆議案第48号

○長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

長野県町村公平委員会に佐久市・北佐久郡環境施設組合が加入し、それに伴う長野県町村公平委員会共同設置規約の変更をするものです。

（全員賛成 可決）

◆議案第49号

○平成25年度一般会計歳入歳出決算認定について

別掲参照、「平成25年度歳入歳出決算の推移（5頁）」

（全員賛成 可決）

◆議案第50号

○平成25年度朝日村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

課税対象被保険者数は1,345名で、平成24年度の1人当たり医療費は253,184円（前年比105.2%）でした。

（全員賛成 可決）

◆議案第51号

○平成25年度朝日村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

平成25年度末の第1号被保険者数は1,352人。要介護認定者数は200名で8名増です。内訳は要支援者が10名増、要介護者は2名減でした。

（全員賛成 可決）

◆議案第52号

○平成25年度朝日村後期高齢者

医療特別会計歳入歳出決算認定について

平成24年度の後期高齢者一人当たり医療費は、77市町村中67位でした。

（全員賛成 可決）

◆議案第53号

○平成25年度朝日村簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について

簡易水道加入件数は1,689件で、5件の新規加入がありました。村債は、8億1,868万8千円でした。

（全員賛成 可決）

◆議案第54号

○平成25年度朝日村下水道特別会計歳入歳出決算認定について

25年度には下水道管路点検業務は西洗馬幹線を行い、26年度に小野沢、27年度には針尾を実施予定です。村債は、26億1,204万3千円でした。

（全員賛成 可決）

◆議案第55号

○平成25年度あさひプライムス

キー場事業特別会計歳入歳出  
決算認定について

来場者数は24,000人で、低年齢層の集客を図っております。

(全員賛成 可決)

◆議案第56号

○平成26年度朝日村一般会計補正予算(第3号)について

歳入歳出それぞれ2,930万8千円を追加するもので、主な歳出は喫茶室の改修工事1,100千円、農業行政システム委託料2,371千円、土地改良事業多面的機能支払交付金1,625千円、大石原道路改良工事申請費15,100千円、住宅・建築物耐震改修促進費補助金1,200千円等でした。

(全員賛成 可決)

◆議案第57号

○平成26年度朝日村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ8,681千円を追加するもので、主な歳出は後期高齢者支援金5,734千円、介護納付金1,043千円、療養給付費交付金返還金1,

904千円等です。

(全員賛成 可決)

◆議案第58号

○平成26年度朝日村介護保険特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出それぞれ4,980千円を追加するもので、介護給付費交付金等返還金です。

(全員賛成 可決)

◆議案第59号

○平成26年度朝日村簡易水道特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出それぞれ470千円を追加するもので、前年度繰越金を一般管理費に充てるものです。

(全員賛成 可決)

◆議案第60号

○平成26年度朝日村下水道特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出それぞれ316千円を追加するもので、前年度繰越金を施設管理費に充てるもの

です。

(全員賛成 可決)

◆発議第4号

○少人数学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書について

(全員賛成 可決)

◆発議第5号

○私立高校への公費助成に関する意見書について

(全員賛成 可決)

◆発議第6号

○農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める意見書について

(全員賛成 可決)

閉会中の継続審査及び  
調査申し出について

○事件

・議会運営委員会

(1) 議会運営委員会の所管事務に関する事件

(2) 議長の諮問に関する事件  
・総務産業常任委員会

(1) 総務産業常任委員会の所管事務に関する事件



・社会文教常任委員会

(1) 社会文教常任委員会の所管事務に関する事件

○期限

・時期定例会開会まで

(全員賛成 可決)

# 平成25年度一般会計決算審査について

平成25年度決算について、決算及び基金の運営状況審査、又健全化判断比率などの審査を、栗津原一芳代表監査委員と私の2名で7月下旬から8月上旬の延べ5日間審査を行いました。

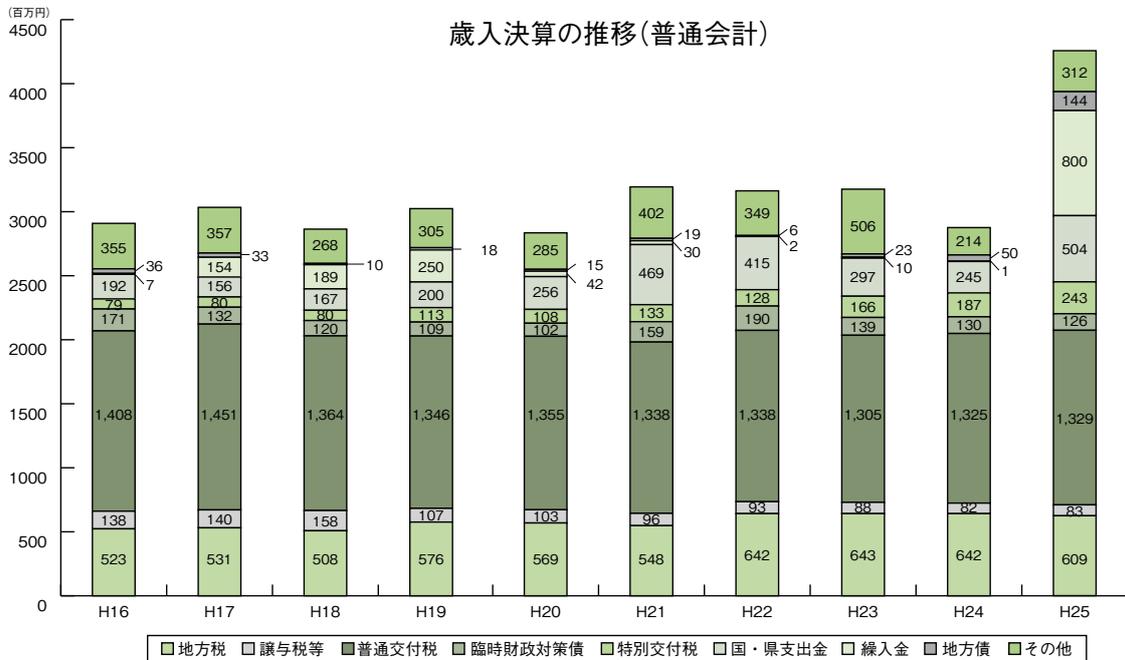
その結果、健全化判断比率は、実質赤字比率なし、連結実質赤字比率なし、実質公債費比率9.0%、将来負担比率なし、資金不足比率なしであり、実質公債費比率については、前年度比1.4ポイント改善されました。

一般会計は、歳入41億4,976万円、歳出37億131万円で、実質収支は1億4,088万円の黒字決算でした。

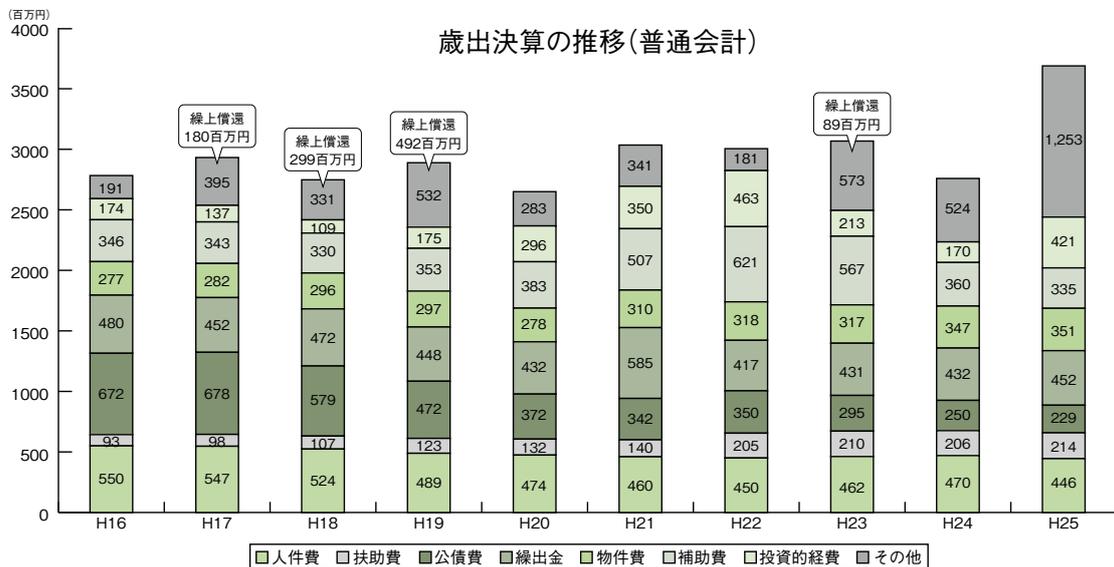
行財政改革に努められた結果、平成25年度も健全財政でありました。今後、予定される庁舎建設等の大型公共事業に取り組むため、引き続き「最小の経費で、最大の効果」を生むよう、努力していただくよう要望すると共に、新たに検討がされました「朝日村第5次総合計画後期基本計画」に定められた各施策が、さまざまな工夫と戦略を以て計画的に推進され、住民福祉が一層増進されることを期待し、決算審査報告と致しました。

議会選出監査委員 塩原龍三

歳入決算の推移(普通会計)



歳出決算の推移(普通会計)



# 一般質問

## ここが知りたい



### 道路交通網の整備について

林 邦宏

**問** 上組向陽台の宅地分譲契約は順調に推移し次期分譲が期待されております。今後の課題で西洗馬7号線(上組~土倉)の村道整備が切望され、中組バイパス完成時の通勤時間帯と登校時間帯での歩道の無い、土合からおひさま保育園の三叉路間の通学児童の安全確保対策です。昭和59年頃から、頻繁に出没する熊により、上組児童に対し通学の下校時は、中組経由が課せられ、その後通年、通学路は中組経由となり今日に至っている。有害鳥獣防護柵が完備され、熊の出没も皆無となり、安全面でも交通量の低い西洗馬7号線の道路拡幅や桜坂と墓地周辺の樹木の枝うち等の森林整備や街灯増設で、道路環境整備を実施して四半世紀振りに、小学校児童の通学路復元させる事業を展開し、向陽台の居住環境向上に寄与させる、村長のお考えをお聞かせください。

**答** 上組地籍の向陽台造成に伴う道路整備の件ですが、通称長坂と呼ぶれ上組からの、小学校、公民館、役場等への交通路ですが、昭和39年以来、林業の衰退で、人が山林に入山する機会が減少したことにより、野生動物が出没し、特に通学児童の安全を図るため、集団登下校や鈴の配布、更に通学路を中組経由とし、一層の安全を図つてきた。鳥獣防護柵が設置され、野生動物の出没が回避されたので、道路整備し、安全な通学路の確保との事ですが、この道路の課題は通称、長坂の箇所です。道路の傾斜は北西向きで、両側は森林で日中は日陰となり、歩道付きの整備をしても、冬期間の凍結期間が長期にわたたり、危険な状況が想定され、又防犯上の安全を考えれば、人通りも少なく人家もない事から、安全担保も困難となる。さりとて、向陽台団地からの通学路を、中組経由では遠回りとなるので、まずは県道に通じる下洗馬地区、又は旧保育園の周辺に通学道路ができないか、今後検討してまいりたい。



### 安全で安心な村に！

三村 清

**問** 朝日村も戦後、伊勢湾台風や昭和57年9月と昭和58年9月に豪雨災害が発生しております。朝日村では79カ所が土砂災害警戒区域指定となっており、豪雨災害を私たちの身近な問題として捉えなければなりません。災害から、それぞれが身を守る行動や地域の共助は、当然必要ですが、本部の判断・対応機能が住民にとって、大きくその運命を左右することは、どの災害を見ても明らかです。そこで防災計画が機能するか本部を中心にお伺いします。

①避難収容活動について、避難勧告、避難指示、避難場所の判断基準はどの様になっているのか。

②食糧等の生活必需品の備蓄量、調達、供給計画はどの様になっているのか。

③本部の防災訓練について、担当部署との連携訓練、地区防災会との連携訓練、関係機関との連携訓練はどの様になっているのかお伺いします。

**答** 発令基準につきましては、村では平成25年9月に避難勧告等判断基準を定めておりましたけれども、今年4月内閣府より避難判断伝達マニュアル作成ガイドライン案が示されたことから、見直しを行いまして8月29日より村のホームページに掲載され周知を図っております。でございます。次に避難場所についてでございます。土砂災害につきましては、避難場所自体が災害を受ける可能性がございますので、現在行っております見直しの中で災害ごとに避難場所の設定を行っております。次に備蓄につきましては人口の5%にあたる250人分の備蓄をすることとなっております。備蓄を進めておりますが、昨年の災害対策基本法の改正によりまして、生活必需品、食糧物資等の備蓄につきましては住民の責務として災害から3日間の備蓄をすることが明記されましたので、当村としても地域防災計画におきまして住民に周知していくこととしております。

**総務課長** 避難勧告 避難指示の



## 災害危険度の判断の強化を

齊藤勝則

**問** 異常気象が日本各地に甚大な被害を与えている昨今、未然に被害を防ぐためには、今まで以上に危険度の判断力のアップや設備の充実が重要であるが、行政の考えを次の点でどの様にお考えか聞きたい。

- ① 当村では、何ミリ以上の雨量が危険と判断するのか。
- ② 砂防ダムの定期的チェックや浚渫も考えては。
- ③ 避難場所の徹底は重要だけれどいかが。
- ④ 雨量計の設置を増やしてはいかが。

**総務課長** 国、県、専門家と連携を取り、基準については作っていただきたい。砂防ダムも県で検査しているが、村としても連携して調べていきたい。

又雨量計は4カ所に設置し、常時チェックしている。

**消費税の更なる増税に反対を**

**問** 今でも、国民にとって



県雨量計(かたくりの里敷地内)

は、限界の税制なのに更なる増税は、生活できない人も出てくるのではと心配だ。しかも当村としても、大企業が控えている現在、更なるプラス補正は大きな負担になるのではないだろうか。260兆円以上の大手企業の内部留保の一部を利用させてもらえば、消費税のアップはいらぬが、どの様にお考えか聞きたい。

**村長** 大きな問題であり、国政の場で大いに検討してもらいたい。国民総生産(GDP)もあまり良くない。海外では生活必需品には消費税をかけていない国もある。国政の場でしっかりと検討してもらいたい。



## 地域包括ケアシステムに 朝日村はどう取り組むか

高橋廣美

**問** 地域包括ケアシステムとは「団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される」というものです。自治体ごとの地域特性に応じた自主的な取り組みが重要となってきました。当村では、今後かたくりの里の改修とともに、その運営も見直されようとしています。このような背景のもとで当村は今後地域包括システムにどう取り組みむのか。

**住民福祉課長** 地域ケア会議を立ち上げ、ケアマネ、社協福祉活動専門委員、村内の医師の参加により、地域の問題、認知症問題等、医療と介護の連携について協議をしている。次年度からはもっと広域的な関係機関と連携をとっていききたい。地域包括システムは、地域全体で互いに支えあう仕組み

でもある。今後、かたくりの里の改築後は高齢者を中心にした村民が気楽に集う場として、ボランティアの活動拠点にしていく。

**村の主要施設等の案内板の更新について**

**問** 現在の案内板は大変古くなって見にくいもの、内容が解りにくいものが多い。各市町村のホームページを見ても、英語、韓国語、中国語、に変換できるようになっている。東京オリンピックに向けて今後地方にも外国人の観光客の増加が予想される。このような観点から、案内板の更新が必要と考える。

**総務課長** かなり古いものが多いという認識であり、今後調査をし順次更新をしていきたい。国土交通省指導の、日本語、英語、ピクトグラム(絵文字のようなもの)を中心に考えたい。また、耐久性、デザインについても研究していきたい。



## 向陽台住宅団地の状況について

塩原正由

**問** 朝日村土地開発公社と行政が協同施行した上組地区の向陽台住宅団地については、少子化対策と人口確保対策の一環として、子育て世代に最適な住宅団地として今年3月より販売を始めたところですが、約7ヶ月間で予定されたより早く契約者が増えているとの話を聞くわけですが、現在までの経過を村民の皆様の説明をお願いします。

**村長** 土地開発公社が3月から分譲を始めた向陽台住宅団地の販売が順調に進み、全16区画のうち、既に13区画が契約済みとなっております。残りも予約済みと交渉中が各1区画となっており、近隣都市部より地価が安く、松本市や塩尻市と平地続きで通勤などにあまり不便を感じない土地が幸いしているようです。また、子供がいるか45歳以下の若者世帯には、分譲価格を1割引にする特典もあり、子育て世代の皆様は歓迎されております。

**問** 人口増対策としては、向陽台住宅団地造成は当村にとっても

メリットが大きいと思うわけですが、今後、現在の造成土地が完売した後に引き続きこのような住宅団地造成の計画を進める事については、行政としてどのように考えているのか。

**村長** 人口減少対策の一環として向陽台住宅団地を整備したところ、好調な分譲を受け、新たな宅地造成の必要性も考えられる。消費税引き上げの影響も心配されたが、思っていた以上に早く契約が済んだ事から、今後は公社の理事会で議論をして、検討していきたいと思えます。

**問** 現在建築中も含めて6棟が建てられており、若い世代が他の自治体より移住する事は当村にとっても大変ありがたいと思うわけですが、将来的には、約50人以上の人口が増加すると予想され、子供達が増えれば保育園、小学校の運営も円滑に進められると思いますので、今後住宅団地造成を計画していたかどうかと思えます。



## 中央公民館の改修及び周辺の整備について

中村賢郎

**問** 中央公民館講堂のアスベストの問題が指摘を受け、十年近くになるうとする中で、現在の状況と今後の改修予定について村側の考えをお聞きしました。併せて、中央公民館の駐車場の整備予定と十月にリニューアルオープン予定のレストランへの指定管理者制の導入や管理委託料の支出の検討等村側の考えを聞きました。村側の回答は次の通りです。

アスベスト濃度測定を平成十八年度より、毎年一回実施しているが基準値を下回っており、現状では問題ないとの認識が示された。その様中で改修については、今の所具体的な計画に向けての取り組みはしていないが、本年七月に策定された「朝日村第五次総合計画後期基本計画」に沿って議論をされると捉えている事、又駐車場整備については、排水等の問題もあり簡単には出来ない状況ではあるが、総合計画に沿って議論がなされるとの考えが示された。そこで、今後五年間により具体的な議論をする事と事業の優先順位を上げる事を要望しました。

### 信号機の設置について

**問** 松ノ木橋交差点に信号機が設置出来ないか村側の考えを聞きました。この問題は、七月に開かれた鉢盛中学校PTAの支部懇談会の折に保護者より提案があり、現状の確認過去の事例等について聞きました。村側の回答は次の通りです。

松ノ木橋交差点では、平成二十一年度より人身事故三件を含む六件の事故があり、この事から地区や交通安全全朝日支部等より要望があった。村としても信号機の設置を塩尻署に要望している状況であるとの報告がありました。又、今まで信号機以外の事故防止策として「電光盤の設置・交差点改良等」行なってきたが、今後もより効果的な表示等塩尻署等と検討し、より安全性を高めてゆく旨の考えが示されました。



## 豪雨による土砂災害に対する備えについて

武田栄市

**問** 今年 狭い地域で短時間に大量の雨が降ったことにより、七月に南木曾町で土石流が発生し、また、八月には広島市で大規模土砂災害が発生して多くの死者を出している。こうした中で 避難勧告の遅れについても指摘がされている。鉢盛山と鎖川を有する朝日村において、豪雨災害に対する危機管理体制の取り組みについて聞きたい。

**課長** 住民主導型警戒避難体制については、自然災害に対して、各自が自らの判断で避難行動をとることが原則になっている。地域の状況を把握して有事の際にどのような行動をとるのか、あらかじめ確認することが必要となっている。住民主導型警戒避難体制については、今後機会がある毎に、説明し周知に努めてゆく。また、地域独自のマップ作りについては、県では今年度から同体制の中に地区防災マップ作成支援の言葉を入れて推進している。今後は、地域防災マップの作成等に対する支援体制について取り組みをしていく。

## 農業用のため池の耐震調査について

**問** 農林水産省は、東日本大震災で農業用ダムが決壊して多数の死者が出たことが

ら、平成二十五年度から二十六年度にかけて、規模が大きくて周囲の人家に被害が出る可能性がある農業用ダムやため池について、目視による一斉点検を自治体に求めている。朝日村にも何方所かのため池があるが、耐震等 調査の結果について聞きたい。

**課長** 九つのため池が調査の対象になり、規模により五つの池は県で、四つの池は村で専門業者と役場職員で調査を行なった。検査の結果九つのため池すべて、被害の発生度は低いとされた。ただ漏水のあるため池があり、県と改修の事業検討をしている。地元負担が少なく済む補助事業があればと考えている。

## 道路環境の整備について

**問** 村道の改修について、村道二十号線（県道記念碑から旭ヶ丘団地への道路）の一部が大きく窪んでおり（上古見ファームポンドへの配管工事に依るものと思われる）、車の安全交通の障害となっている。早急な改修が出来ないか。

**課長** 昨年（西洗馬）今年（大石原）と集落内の村道の改良事業を進めてきた。今後道路状況の確認をしながら、調整をすすめる中で改修を進めていきたい。



## 中学生通学路の街灯適正間隔に

塩原龍三

**問** 七月十四日古見集落センターで、鉢盛中学校PTA主催の中学校教師、保護者、地区役員、区

長、議員に依る支部懇談会が開催されました。その二日後に「支部懇談会の席で発言できなかった」と言って、私の所に意見を寄せられました。内容は、中学生の息子さん（冬の間、美術館手前の屋内ゲートボール場で中学校野球部の夜間練習をした後、上古見・芦の久保・下古見・大原桜台と、自転車で帰って来る。息子さんは、「下古見〜大原桜台の街灯の間隔が長い為に暗くて怖い」と訴える。何とかして欲しい、と言う事でした。そこで私は、下古見のバス回転所から大原桜台までの街灯の照明状況を調べて見ました。結果は、下古見と大原桜台の間に五個の街灯が点灯していますが、各々の街灯の間隔が長い為に、街灯と街灯の間隔が真暗い状態でした。街灯の数を増やすなり「街灯器具を検討するなりして、路面の明るさを均等に近づける対策をと思います。如何でしょうか？」

**産業振興課長** 街灯の適正配置化に付いてですが、先ずこの村道古見幹線1号線の街灯につきましては、議員指摘の通り各々の街灯の長い場所も有る事も確認しております。先程の武田議員の質問に答えました通り、平成二十一年度（実施致しました）事業に依りまして、地区への要望を確認しまして必要な場所への設置した経過が御座います。この時、地区長さんに立ち会って頂き実証した経緯がありますのでご理解を頂きたい。今後につきましては、状況を把握して、判断をして行きたいと思っております。





## 認知症の方が安心して暮らしていける村

塩原 操

**問** 国によりますと認知症の患者数は高齢化の進行とともに増え続けており、2015年には345万人にのぼると推計されている。これは65歳以上の10・2%、高齢者の10人に1人が認知症になるということです。さて、①認知症の定義について。②認知症の現状等について。③その取組等について、お伺いします。

**住民福祉課長** 認知症という呼び方は、2004年に厚生労働省から行政用語として使用されるようになった。「正常に発達した知能が、脳の何等かの後天的な障害により正常なレベル以下に低下した状態」を指す症状として定義されており、この状態を引き起こす病気として、一般的にはアルツハイマー病、脳血管性認知症などがよく知られています。平成25年度の朝日村の介護認定を受けている方196名の内身体的重複もあります。104名で約半数以上の方が認知症の症状が認められるという認定

結果になっております。又昨年の新規の介護認定者46名の内、主な認定要因が認知症の方は20名、高齢者の3割が認知症あるいは予備軍となつていると推定されます。村で行っているアポプレキシー対策事業は認知症予防の第1歩かと思えます。又、高齢者向けの体操教室、脳活性化教室、サロン等介護予防のための施策を実施しています。それから「認知症になっても安心して暮らしていける村づくり」を目指して医療と介護が連携した地域のケア会議で、先日認知症ケア対策について協議しました。最初の方策として、認知症を正しく理解していただき、地域で見守り支えていける環境作り、広く認知症を理解しサポートできる方を広げていく活動として「認知症キャラバンメイト養成講座」を開催します。(H26年11月頃)

**問** 長い間苦勞してこられた方々が温かく支え見守つてやれる村づくりをお願いします。

## 総務産業常任委員会報告

今回の9月定例議会において、総務産業常任委員会に付託された陳情は次の1件です。「農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める意見書」の提出と政府への働きかけを求める陳情です。審査の結果全員一致で採択となりました。審査の主な経過は次のとおりです。これまで地域の農業農村を維持し、地域の重要なライフラインとし

ての役割を担ってきた農業協同組合の存在を無視した政府の一方的な農業改革は地域にとって重要な影響を及ぼしかねず、慎重な議論を十分に行なうことが重要である、という意見が多く全員一致をもつての採択となりました。結果については、本会議で報告し、審議の結果、委員会での採択のとおり議会でも採択されました。

委員長 高橋 廣美

## 社会文教常任委員会報告

9月19日、請願1件、陳情2件を審査いたしました。請願3号は、「少人数学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書」については、健やかな成長を願う保護者や教職員にとって学校教育について、環境その他教育の危機が進行している中、ゆとりある教育をすすめる為、少人数学級早期実現と、教職員定数の大幅増の要望に対し、全員一致で採択となりました。陳情第2号、「私立高校に対する公費助成を願います陳情書」につきましては、私立高校への就学支援金制度の拡充、大

幅経常費補助、教育条件改善の為、大幅な施設設備費の補助、保護者負担を軽減する為、大幅な学納金の補助について、全員一致で採択され、国、県へ意見書を提出することとなりました。陳情第3号、「軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情」につきましては、委員会全員が損傷の詳細についてや、労災認定基準についてなど、判断が非常に難しく、更に研究をするということに継続審査と致しました。

委員長 斉藤 勝則

## 東筑摩郡村議会 議員大会開催される

去る9月2日、筑北村の坂北総合福祉センター大会議室で、東筑5村の議員大会が開催されました。



どの自治体でも、主要道路の改善、改修、新設の議案が提出され、いずれも承認、採択されました。朝日村議会では、中組バイパスの早期実現の為の議案を、斎藤議員が代表で提案し、採択されました。

又、前年度決議事項の処理状況も説明がありました。

議事後、(株)地元カンパニーの児玉光史代表取締役他による講演「故郷を離れた若者を活用して、故郷を活性化しよう」という演題で、熱く語られ、大変参考になりました。

有意義な大会となりました。  
(斉藤勝則)

## 東筑摩郡村議会 議員交流会について

去る9月25日、生坂村において東筑摩郡村議会議員が一堂に集まり、村づくりの研修及び施設見学を通して、関係諸情報を習得し、議会の活性化と議会運営の充実を目的に交流会が開催されました。

研修では、頌徳館において、生坂村出身で法学博士の加藤正治(犀水)先生の数々の業績に

## 平成25年度議会費決算額のお知らせ

平成25年度決算の議会に関わる歳出額は、総額43,500,890円です。内訳は下記の通りです。

○議会人件費(職員人件費を除く) (単位:円)

項目	金額	内容
議員報酬	23,160,000	議員10名
議員手当	7,835,800	議員10名
議員共済費	11,360,400	共済制度に加入していた方々の給付に要する費用
計	42,356,200	

○議会総務費 (単位:円)

項目	金額	内容
旅費	222,590	行政視察、研修、出張他
議長交際費	15,400	行政視察手土産、行事祝酒他
消耗品費	150,550	書籍追録、参考書籍他
印刷製本費	322,560	議会だより印刷製本
会議録作成委託料	266,490	議会会議録作成
県町村議会議長負担金	67,100	
東筑摩郡議長会負担金	100,000	
計	1,144,690	

以上により、活動しています。

ついで、館長で前生坂村教育長の藤原良司氏から、説明を受けました。

次に、見学では「上野巨峰園」を訪れ、遠目には一つのぶどう園に見えますが、近づいて見ますと十一戸の葡萄農園の集合体の体を成しており、公益

財団法人生坂村農業公社の理事長、岩間さんから栽培農家などについて説明いただき、共においしいぶどうを試食させていただきました。

又、他の自治体の議員と親睦を深めることができ、充実した議員交流会でした。(塩原龍二)

# 村民の 声

## 入二区の現状と課題

当区は清流鎖川の上流部に位置し、御馬越地区33戸と御道開渡地区15戸により、入二区として構成されております。周辺には、三俣キャンプ場、野外音楽ホール、炭焼き体験館、スキー場等があり、年間を通して村内者、村外者の利用があり季節により、利用率の高い施設もあります。昔からの居住者の方も多く、そのため地域の人と人との絆も強いのではないのでしょうか。災害等には、大きな力を発揮して頂けると思っています。しかし、課題もあります。加速する高齢化社会の中で、当区でも高齢者のみの世帯もあり、又働く世帯も増えており、昼間留守にする事も多く、行政の一層きめ細かい見守りをお願いします。他の区でもあるかと思いますが、大きな戸数の区と、入二区のように小さな戸数の区では、当然ひずみも見られます。例えば、顕著に現れているのが、行政から依頼される役員の選出では、毎年苦勞しております。一人で幾つもの役を兼務するのはもとより、ある地区では限られた人員の中で、男性も女性も同じ役員を何回も何回も繰り返しやならなければならない、行政に対して不満も以前から出ており、今後の区の運営に大きな課題となっています。今年の大雪には、各地区の皆さん大変苦勞された事と思いますが、今後の事も考慮して、除雪機2台と、災害時及びイベント等で活用できる防災テント2張りを、コミュニティ助成金制度で購入を行政に依頼してあります。除雪機は、購入が実現した場合は、地域の皆さんの労力の一助となればと思います。今後共、入二区の発展と住みよい環境作りに、皆さんと共に、微力ですが努力していきますので、御協力をお願いします。 入二区長／清沢 末季



清沢 末季さん

## 編集後記

今回の議会は、行政の災害への対応が多く見られた。先の予測は専門家でも、なかなか難しいようだ。御岳山の噴火も、予測できず、多くの被害者を出した。しかし、後で見ると、兆候になるシグナルは出ていた。しかしそれが危険ランクの引き上げに繋がらなかった。又、震度計のいくつかは、故障したままでした。特に山頂付近の震度計も故障していたのに、放置されていた。災害が発生するといろいろな問題点が出てくる。そして、災害が起こると行政もすぐ

に対応をすることを、繰り返してきた。

災害の起こる前に、問題点を抽出し、速やかな対応を図っていくことが、なぜ出来ないのか、予算の使い方をもう一度考える必要がある。

発行責任者 (三村 清)

議長 上條 俊策

委員長 三村 清

副委員長 齊藤 勝則

委員 中村 賢郎

委員 武田 栄市

委員 塩原 正由

## 議会活動日誌

7月		活動内容
1	火	松本広域連合議会
4	金	草刈ボランティア
6	日	消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会
8	火	山形村・朝日村議会議員研修会
11	金	中信平太陽光竣工式、議員九州視察
12	土	議員九州視察
13	日	議員九州視察
14	月	議員九州視察
16	水	野俣林地愛護会通常総会
17	木	松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会総会
18	金	長野県町村議員研修会
24	木	臨時議会、高齢者ふれあいの集い
26	土	鎖川河川愛護会清掃作業
31	木	松本糸魚川連絡道路建設期成同盟会総会
8月		活動内容
3	日	かたくりの里まつり
9	土	お夏まつり
11	月	鳥獣被害防止対策協議会
14	木	地区対抗野球大会
15	金	成人式
18	月	松塩地区広域施設組合環境保全協議会
22	金	東筑議長会
23	土	朝日のあたる村音楽祭
24	日	朝日のあたる村音楽祭
25	月	議会運営委員会
9月		活動内容
2	火	東筑議会議員大会
7	日	防災訓練
9	火	9月定例議会開会
10	水	全員協議会
13	土	OB 野球閉幕式
16	火	常任委員会
18	木	一般質問
19	金	9月定例議会閉会、戦没者慰霊祭
20	土	朝日小学校運動会
25	木	東筑議会議員交流会、はつらつ運動会 鉢盛中学校白峰祭
26	金	長野県町村議長会
27	土	保育園運動会